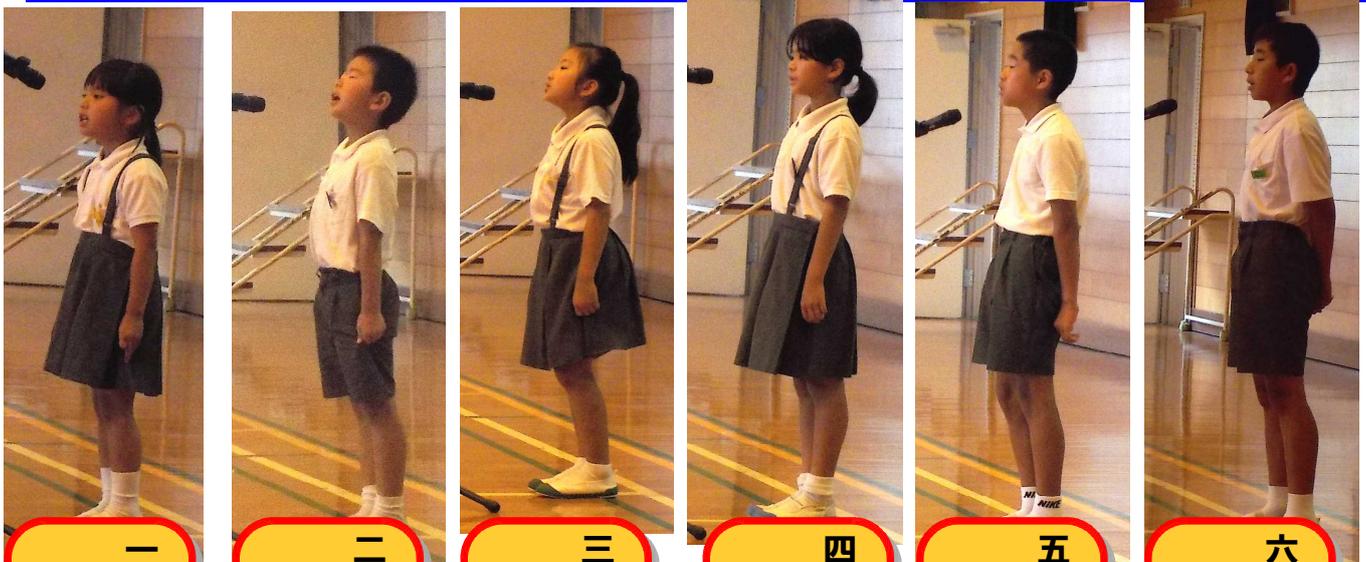


輝く☀️小天っ子

小天小 学校便り
第 14 号
令和元年7月1日
文責:井上 加寿子

6つのステキなお話、ありがとう！ ☆校内童話発表会☆

- ☆今年も全児童が童話発表会に向けて主体的に取り組みました。各学年、自分のお話を大事にして練習を頑張っている姿が、とても素晴らしかったです。ご家庭での練習、応援、お忙しい中に本当にありがとうございました。
- ☆昨年も話しましたが、童話発表会は覚えることが目的ではありません。「日ごろの読書の中でみんなに伝えたいお話をみつけて」「自分の語りでお話の世界を聞く人にプレゼントする」ことにあると私は思います。そのためには「声でお話の絵を描く」つもりで、自分の語り・表現を磨くことが大切です。
- ☆27日、今年も各学年の代表選手6人がステキなお話を発表してくれました。また、他の児童の聴き方も素晴らしいものでした。聴き上手は話し上手を育てます。小天小学校は、学校全体にその風土が満ちていることが素晴らしいなあと思います。
- ☆同日の熊日新聞「たから箱」のコーナーに、「図書の日」と題して菊陽北小5年生の「最初は楽しくないと思ったけど/読んでみるとおもしろい/いやな気持ちの時、本を読むと/魔法みたいに、心が楽しくなった」という作品があり、子どもたちに紹介しました。雨の季節、子どもたちに良い本との出会いがありますように！



一年 A さん
「ふくろうの
そめものや」

二年 B さん
「みずいろの
たね」

三年 C さん
「ともだちほしいな
おおかみくん」

四年 D さん
「よつちゃんの
ビー玉」

五年 E さん
「そして
トンキーもしんだ」

六年 F さん
「ウエズレーの国」

☆7月20日(土)横島町公民館で行われる「玉名市童話発表大会」に、本校の代表として、**3年Cさん**が出演します！Cさん、ガンバレー！みんなで応援しているよ！！